
黒蜜と蜂蜜

_瑠姫

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

黒蜜と蜂蜜

【Nコード】

N0115Z

【作者名】

— 瑠姫

【あらすじ】

黒蜜さんと蜂蜜さん、2人目線で各話書いていきます。

黒蜜のアコガレ

見た目は…いいとは言えない。

友達も少なく、目立つことが嫌い。

腰までがんばって伸ばした髪も暗さを引き立てるだけだった。

オマケに前髪が伸びるスピードは人の3倍ほど早くて

前も後ろもとにかく黒一色な髪の毛なのです。

髪の毛だけじゃない。

まとうオーラすら暗い。

制服もスカートは学校規定の丈より長くして

ネクタイも自由だけど学校で一応規定されてる

ダサイネクタイを着用してる。

元はお葬式に出るような真っ黒な制服も

いまどきの子が着れば

ネクタイやらスカート丈やら中のシャツやらで

可愛く派手に見えるものだが

私はそのお葬式スタイルのまま着てるから

黒い。

とにかく

黒くて暗い。

先生とか地域の人からは

いまどきの子たちは

…とか言われたいけど

むしろ評判いいけど

とっにつかつく

ダサい！

だけど

このスタイルを変えられない。

変える勇気がない。

そんな自分が悔しくてたまらない。

せめて、友達が欲しいと願ってみるが

生まれつきの口下手な性格と

その雰囲気からか

誰も近づいてきてくれない。

なので休み時間は読書ばかりしています。

悪いですか？

人に近づくと

叫び声をあげられ逃げられてしまいます。

自業自得ですか？

情けない気持ちが溢れだすなか

本から目を離しちらりと横を見ると

居た。

ひととき大きくて人数の多いグループの輪のなかの

中心に彼女はいた。

今日も美しい。

茶色がかかった髪の毛を

耳の脇で1つにしばり

前髪はピンクのピンで留めてある。

もとから美しい彼女の力才を

飾るのには軽くナチュラルなメイクが似合っていた。

制服は…一応違反だが

黒いブレザーよりは

今彼女の着ている茶色のブレザーのほうが似合ってるし

ネクタイもチェックのリボンに変えていて

スカートも太ももの半分くらいまで短いほうが彼女には似合っています。

それに一瞬一瞬が綺麗なこと美しい事。

笑顔は花の綻ぶように

落ちる涙は真珠のように

怒気をあらわすと眉間によるしわも

彼女の肌の白さと皮膚の薄さを表している。

声も澄んでて綺麗で名前を呼ばれると

ほわーん、というかふわぁっとなっちゃう。

それに！

近づくと香るあの香り！

甘い花のような蜜のような

うつとりしてしまうあの香りが

彼女の魅力のひとつだった。

とにかく、彼女を見るだけで幸せになれる。

幸福が私の体を満たす。

後光がさして見えます！

…

誤解しないでほしいのだけれど

そういう趣味はないですから。

アコガレの人は別にいます。

学年トップの成績を誇るあの人。

運動も完璧で

陸上部のあの人。

授業中にだけめがねをするのも素敵です。

やさしくて爽やかでももちろん人気者。

…男子にも女子にも。

でも、こんな私でも…

いつか想いを伝えられるといいと思っています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0115z/>

黒蜜と蜂蜜

2011年11月30日19時45分発行